

住みよいまちづくり情報誌

Vol.8

平成11年10月20日

発行 住みよいまちづくり新荘会
事務局 水戸市新荘公民館
(〒310-0036)水戸市末広町2-3-14
Tel.029-221-7851

責任者 住みよいまちづくり新荘会
会長 奥田 俊亮
編集 新荘会広報部
印刷 東邦印刷株式会社
題字・坂 俊治

と き め き 新 荘

防災組織の充実と高齢者の

安心して暮らせるまちづくり



住みよいまちづくり新荘会
会長 奥田 俊亮

今年の夏は、今までにない様な猛暑が毎日続き、その上、秋の気配がさっぱり感じられない今日この頃です。

そうした中、新荘地区では七月三十一日、水戸市中央地区の防災訓練に二百名を超す大勢の皆様のご参加をいただき、現実さながらの訓練を見学、体験をしていただきました。今、世界各地においては、トルコ大地震、台湾大地震、超大型のハリケーン、豪雨や洪水、土砂災害等々枚挙に暇のない程、災害が続発しております。水戸市においても、昨年の水害を教訓に自主防災の意識が高まり、防災組織の充実が望まれているところであります。それには何と云っても地域の皆様のご理解と、ご協力が不可欠であります。新荘地区でも着々と組織の充実、備品の整備等を進めているところであり、皆様のご支援をお願い申し上げます。

又、今年も、少子化・高齢化の進む学区内で、地域の活性化・連帯感をとりもどし、安心して暮らせるまちづくりをモットーに、初めての企画である「新荘まつり」を実施しました。地域の伝統

芸能である、柳貴家正楽社中による「水戸大神楽」散々楽保存会による「向井町散々楽」を披露していただき、更に、子供御輿、女性の会や子供会をはじめ、各種団体の皆様のご協力による模擬店、メインである「盆踊り」大会等、盛大に開催され、大成功の中に大きなコミュニケーションの輪をつくる事ができました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。更に今年も二年ごとに開催される「市民懇談会」の年にあたり、十月二日に実施されました。

(関連記事四面)

メインテーマとして、「高齢者が安心して暮らせるまちづくり」ということで、岡田市長から親しくご意見を伺うというもので、多数の皆様の関心の深さを物語る状況を見せました。

なお、当日の質疑応答・内容の報告等については、後日お知らせ致します。

『花いっぱい運動』於中央コンクール 新荘小『優良賞』を受賞

生活環境部長 川上利通

毎年恒例の「新荘地区花壇コンクール」を七月十九日に実施しました。地区内花壇七箇所を対象に、公民館職員と生活環境部員の計八名の審査員により厳正、公平に審査致しました。その結果、町内会部門では、「緑町花壇」小・中学校部門では「新荘小学校花壇」を中央コンクール大会へ推薦致しました。八月二日に、水戸市住みよいまちづくり推進協議会の審査員により、中央審査が実施されました。審査の結果、小・中学校部門で「新荘小学校」が見事「優良賞」に入賞しました。新

荘小学校では、日頃、先生と児童が一体となつて、きめ細やかな手入れを行つており、その努力が実つたもので、心から敬意を表したいと思います。

さて、新荘地区では、現在「花いっぱい運動」を推進中です。地区内を見渡したところ、まだまだ花壇、フラワーポットを設置できる場所があると思います。花は心のオアシスとも言われています。是非、地区内の皆さんで花を愛し、花を育てて街の中を明るくしましょう。



「住みよいまちづくり新荘会」

〈平成11年度 主要事業〉

諸会議の開催

花いっぱい運動の推進

水戸市中央防災訓練への参加(7/31)

第一回「新荘まつり」開催(8/28)

市制110周年記念事業

敬老会(9/15)開催の助成

広報紙「ときめき新荘」の発行

新荘地区市民懇談会の開催(10/2)

市民運動会の開催(10/10)

創施行110周年記念

まつり



づくり新莊会
28日(土) 16:00~20:00
庭及び体育館

総集編



▲よく保存された
向井町の「散々楽」



◀郷土芸能に熱気ムンムンの体育館



▲往年の若連も参加



▶親子一体の素晴らしい
水戸の「大神楽」

◀会長さんの
りりしいハッピー姿

▲大工町子供会のおはやし

いま、はじまる「新莊の夏」 第一回「新莊まつり」

夏の夜空に映えわたる

スポ・レク部長 平山晴雄

数年来の念願でした、第一回「新莊まつり」が、夏休み最後の土曜日、八月二十八日に地区の皆様の大ご支援・ご協力により、盛大に開催することができました。

今年も、水戸市制百周年の記念すべき年でもあり、この良いチャンスを逃してはとの思いで、六月に実行委員会を開きスタートしました。

まず、新莊らしさの祭りにと考え、地区の歴史的郷土芸能である向井町の「散々楽」と、水戸の「大神楽」をメインに、何もかも初めてのこともあり、五里霧中のなか費用を最小限にして、手造りのお祭りにしようをモットーに企画をすすめました。

当日、係員は会場の新莊小に全員集合。校庭中央に櫓をたて、それを中心にテント十張で囲むといった構図で、正午には見事な会場が出来上がりました。

午後四時、炬火入場、子供御輿の渡御、開会式となりました。奥田会長、飯村新莊小学校長、袴塚市議会議員等の方々のご挨拶をいただき、終了と同時に、「お赤飯」

「焼きとり」「焼きそば」「金魚すくい」など、十数カ所で「模擬店」「ゲームコーナー」がオープンし

ました。六時からの芸能鑑賞は、体育館で実施され、会場は素晴らしい熱気で溢れました。次いで、消防団の太鼓、和田社中の盆唄による七時からの盆踊りで、祭りも最高潮、八時の打ち上げ花火で夜空を色で彩り、四時間にわたる夏まつりは無事終了しました。天候にも恵まれ、反省点も多々あるとは思いますが、一回目としては、大成功であったと考えております。

柳家正業社中、散々楽保存会、係員、そして地区の皆様方の多大なご協力によるものと、深く御礼申し上げますと共に、この祭りが、地区の一大行事として定着できましようお願いいたします。本当に有難うございました。

参加されたお客様とのインタビューの中から
「中央にたてられた紅白に彩られた華やかな『櫓』が、非常に印象的でした。来年もぜひ」
「模擬店の光の明暗が素晴らしいと感じました。その上、品が豊富で、味が良く、値段も安く、本当に結構でした」

「最後の打ち上げ花火は、素晴らしいものでした。来年も期待しています」



▲これにしようかな

水戸市市

第一回

新



特集

- 主催/住みよいま
- とき/平成11年8
- ところ/新莊小学校

▲身ぶり手ぶりも華やかな盆踊り



▲水ヨーヨー



▲金魚すくい▲

▲なかなか上手にすくえません



▲なつかしい紙芝居



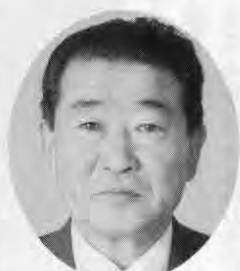
▲机囲んで(親子のふれあい)



▲ゲームに打ち興ずる子どもたち



▲子供御輿の渡御



“ときめきの発信地 公民館”

毎年四月に実施されます定期異動で、今年も新莊公民館に異動がありました。退職された職員と新任の職員をご紹介します。

平成五年から五年間にわたって勤務しました、軍司進嘱託が、定年退職して、その後任に渡辺米二嘱託がまいりました。

軍司さんには、高齢者の方々を対象とした事業や、公民館の運営審議会関係等の仕事を担当していただきました。新莊学区にお住まいですので、今後も地区の様々な活動に引き続き、活躍していただくことを期待しております。

新任の渡辺嘱託が、軍司さんの担当事務を引き継ぎます。何卒渡辺嘱託に皆様方のご支援をお願いいたします。

(小林館長)

市民懇談会提案要旨

中央地区に高齢者にやさしい

介護・保健施設を

新荘会顧問 田口 五郎

水戸市中央地区(三の丸・五軒・新荘・常磐・堀原・五学区)は最も高齢化の進んだ地区として、又、独居老人の多い地区として知られているところですが、殊に新荘地区においては六五才以上の高齢者の占める割合が、二〇〇〇年中には地区住民に対して二五%を超える見通しが立っております。

日本全国民の高齢化が二五%に達するのは統計上二〇二〇年頃と推定されていますが、当地区は約二〇年の先どりをしていると言っても差し支えないでしょう。

さて高齢者や独居高齢者が最も頼りとしているもの一つに医療機関があります。殊に近代的医療機器を設備する大型病院については、最も頼りしたいところです。然るにこの十年に近い間、済生会病院を始めとして大橋病院、水府病院(予定)等が、市の周辺地区に施設を移し、国立病院についても転出をうわさされています。周辺地区の敷地の広さと地価の安さを求めての転出は分かりませんが、今やこの地域においても地価の暴落と共に、歯の抜けた様に空気が点在し、増加の一方を辿っています。これらの土地について交換合を巧みに実施すれば、高齢

者の間近で、やさしい集合住宅や介護や保健施設等を設置することができる筈です。かくて失われた安心感を取り戻し、家族がそろって協力できる体制がとれることと思えます。

各学区に公民館を設けて別館となるようですが、介護施設については、尚更に需要者の傍らに設けることによって、安心して住める水戸市民の生活の拠点としてほしいものです。

高齢者対策について

福祉厚生部長 入江 清男

老人福祉センター八幡荘は、新荘地区と五軒地区の境に位置し、高齢者の方々が徒歩や自転車で丁度よい所にあるので、各種生涯学習の教室、クラブ、その他の活動に利用されています。

その八幡荘が用地の問題とかで無くなると言う話を耳にしたが本当かどうかお伺いしたいです。

また、建物が古くなり時々補修をしている様に見受けられますが、別地に新築する計画はないのか、あるとすれば老人人口に成熟度の高い新荘地区あたりに建設するのが適当ではないかと思われまます。新築計画についてもお尋ねしたいと思えます。

ニユースポーツの

普及について

大内 三平

全国的に高齢者が増えて、二十五年後には全国で、二百三十万人の人々が寝たきり老人になると予想されています。その上、高齢者の医療費は、若い人に五倍もかかると言われています。

一方、国民健康保険料は資産・収入に比例しているとはいえず、極めて高く、保険などに入らなくても自費で払った方がよいという人もおり、保険料の徴収には、水戸市のみならず各自治体も頭をいためていると聞いています。

アメリカでは、高齢者の健康と体力アップを図り、老人医療費の増大を防ぐため、国家プロジェクトとして約十年前から「ヘルシーピープル二〇〇〇年」計画を樹て、着実に成果をあげています。

従来のスポーツは若い人向きで、高齢者にはとてもついていけない為、どうしても家に閉じこもりがちになります。そこで、高齢者でも、何時でも、何処でも、誰でもできるニユースポーツ(例えば、ユニカール、ジャフルボード、ローンポウルズ、フライングディスク、グラウンドゴルフ、ベタンク等)を広く一般に普及し、高齢者の健康づくりと体力アップを図り、医療費の抑制を図ってはどうかと考えます。高齢者が健康で豊かな老後を送れば、その消費活動が社会に好景気をもたらすことにつながると思えます。

問題はこれらニユースポーツの

用具類が高価で、個人では購入できない点にあります。(二種類一〇万〜二十五万円、前期一揃いで約五十万〜六十万円位)よってとりあえず、水戸市で四セット位を購入し、市内四か所位の公民館又は小中学校体育館等に常備し、休日の土、日曜日に一般市民に貸与開放していただくことを望むものです。

中央ブロック

防災訓練に参加して

防災委員長 坂場 鶴吉



救急隊の活躍

さる七月三十一日、ちとせ市民運動場において、水戸市中央ブロック(三の丸・五軒・新荘・常磐・堀原地区)を対象にした、地震に備えての防災訓練が実施されました。

訓練は、「震度六の烈震」に襲われ、特に、市内中央地区で家屋の倒壊、同時に数カ所で火災が発生し、道路の損壊などのほか、電気・ガス・水道などのライフラインに、大きな被害が発生した、との想

定で実施されました。新荘地区の参加者は、消火器による初期消火、給水・給食、応急手当・集団避難訓練等を体験してその成果をあげました。

このような地震が発生したら、どうすればよいか。防火活動は、一に、住民の団結が不可欠

二に、組織的に行動する
これによって最大限に力が発揮されて、被害の軽減ができるものと強く感じました。又、地域住民が連携して「自分の地域は自分達で守る」という意識を持つことが大切かと考えます。最後になりましたが、猛暑の中を参加された地区内の多くの方々に、深く感謝を申し上げます。

編集後記

今年度は「市制一〇〇周年記念」として「第一回新荘まつり」を、新荘会はメイン事業として取り上げました。そのようなことで、「ときめき新荘」も特集、総集編として編纂いたしました。

また、今年、四名の女性の方々のご協力をいただくことになりました。きめ細かい編集に心掛けて、「よりよい広報紙」をお届けできますよう努力してまいりますので、よろしくご鞭撻の程お願い申し上げます。

影山道子 大部絹子 赤坂圭英
橋本せつ子 細谷規行